

岡山胸部疾患研究会講演会

日時:平成31年3月2日(土)14:00~17:00

場所:岡山県医師会館 三木記念ホール

開会挨拶 岡山県医師会 会長 松山 正春

情報提供 岡山県における結核対策について(14:05~14:20)

岡山県保健福祉部健康推進課

感染症対策班 技師 佐藤 友季 氏

講演 I 結核診療における次世代 QFT-Plus の有用性(14:20~15:35)

講師 日本赤十字社 長崎原爆諫早病院 呼吸器科

副院長(兼)呼吸器科部長 福島 喜代康 先生

本邦の2017年新規結核罹患率は13.3(人口10万人あたり)で中蔓延国です。本邦の特徴は高齢者結核が多いことです。今後さらなる結核罹患率の減少のために高齢者結核、潜在性結核感染症(LTBI)の早期発見、早期治療が重要です。LTBIの診断に必須の検査が免疫学的診断法のインターフェロン- γ (IFN- γ)遊離検査(IGRA)です。IGRA検査には、QFT-3GとTスポットの2つの方法があります。近年、欧州、豪州、シンガポール、韓国、米国では、次世代(第4世代)QFTであるQFT-Plusが既に導入されています。本邦でも2018年6月より市販されています。このQFT-Plusは従来のCD4細胞刺激抗原だけでなく、新しいCD8細胞刺激抗原も追加されています。我々の検討では、80歳以上の高齢者活動性結核では約40%の症例で末梢血CD4値が $200/\mu\text{l}$ 未満(免疫不全状態)でした。本講演では、次世代QFT-Plusの有用性について述べる予定です。

講演 II 急速に進歩する肺がん診療(15:35~17:00)

講師 川崎医科大学 総合内科学4教室 教授 瀧川 奈義夫 先生

肺がん薬物療法は、ゲノム医療と免疫療法の叡智を結集した最も進歩的な分野となっています。標準的な分子・遺伝子診断と、殺細胞性抗がん薬、分子標的薬、そして免疫チェックポイント阻害薬を存分に活用して行う治療をわかりやすくお話ししたいと思います。

閉会挨拶 岡山県医師会 副会長 大原 利憲

日医生涯教育講座単位:2.5単位

(講演 I CC8 0.5単位 CC11 0.5単位 講演 II CC9 1単位 CC10 0.5単位)

CC:8感染対策 11 予防と保健 9 医療情報 10 チーム医療

生涯教育チケット帳を持参お願いいたします。会員施設のコメディカルの方も奮ってのご参加お持ち申し上げます。託児希望の方は岡山県医師会HPより生涯教育⇒託児申込書をダウンロードをして2月25日までFAXで申込をお願いします。FAX 086-251-6622

災害、天候不順の場合中止することがあります。【問合せ先】086-230-7180